

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立仁方小学校  
(仁方中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+3.8	+0.5
令和4年度	+13.4	+8.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

科目	重点課題	改善の方策	検証
<p><b>国語</b></p> <p>本校 71% 全国 67.2% 県 69%</p>	<p>◎示された条件に合わせて、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように文章を書くことに課題がある。</p> <p>◇図表、グラフ、絵から読み取ったことを相手に分かりやすく伝えることに課題がある。</p>	<p>◎複数の資料から必要な情報を選択し、自分の考えが分かりやすく伝わる工夫をして、文章を書く学習を設定する。</p> <p>◇図表、グラフ、絵から読み取ったことをはっきりさせ自分の考えが正しく伝わる文章を書く学習活動を設定する。</p>	<p>◎◇全国学力（設問1二）（第5・6学年、2月）、目標50%→結果65.4%</p> <p>標準学力調査（設問7）（全学年、12月）、目標75%→結果67.7%</p>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 63% 全国 62.5% 県 64%</p>	<p>◎図形の構成の仕方を観察して、図形について判断することに課題がある。</p> <p>◇日常生活の問題、文章や図形の問題を正しく読み取り、正確に、効率よく答えを導き出す方法を考え出ることが苦手である。また、その解法を記述したり、説明したりするなど、表現することに課題がある。</p>	<p>◎低学年では、具体的な操作活動を充実させる。高学年では、2つ以上の事象を目的に応じて比較し、判断理由を図や式、言葉を用いて、述べたり記述したりする場を設定する。さらに、振り返りを行い、簡潔かつ確かな表現に高める。</p> <p>◇解きははじめに、どのような判断理由、方針で解くかを、数学的用語を用いて記述させたり説明させたりする表現活動を通して、解法を考察させる。また、授業内で「思考を促す発問」を取り入れ、問題に対する見方の幅を広げていき、多角的な視点で問題を見るきっかけを作る。</p>	<p>◎図形に関する市販テストの「思考力・判断力・表現力」をみる問題（全学年2月）、目標80%→結果76.7%</p> <p>◇全国学力（設問2(4)問題（第5学年、2月）目標40%→45.5%</p>

【来年度に向けて】

複数の情報の中から必要な情報を選択して考察したり、問いに対して根拠を基に自分の考えを文章や言葉で表したりする学習活動を行っていく。